



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

デビュー30周年記念 深井尚子 ピアノリサイタル2015 ～傑作の森のベートーヴェン～

2015年
10月14日(水)

19:00開演 (18:30開場)

文京シビックホール
小ホール

全自由席 3,000円



30th Anniversary SHOKO FUKAI PIANO RECITAL ～ BEETHOVEN a forest of master pieces ～

◆オールベートーヴェンプログラム/PROGRAM

ベートーヴェン/ピアノソナタ 作品53 ハ長調 “ワルトシュタイン”
Beethoven / Sonate für Klavier Op.53 C- Dur “Waldstein”

ベートーヴェン/ピアノソナタ 作品57 ヘ短調 “熱情”
Beethoven / Sonate für Klavier Op.57 f- Moll “Appassionata”

ベートーヴェン/ピアノとチェロのためのソナタ 第2番 作品5-2
Beethoven / Sonate für Klavier und Violoncello Nr.2 Op.5-2

ベートーヴェン/ピアノとチェロのためのソナタ 第3番 作品69
Beethoven / Sonate für Klavier und Violoncello Nr.3 Op.69



共演:小原 圭 (チェロ)
KEI OBARA (Violoncello)

◆後 援

オーストリア文化フォーラム
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)
日本音楽表現学会

◆主催・お問い合わせ

ブルンネン・ミュージック東京
TEL.090-4628-4054

◆チケット取り扱い

●東京文化会館チケットサービス
TEL.03-5685-0650 (オペレーター対応)
営業時間:10:00~19:00 (休館日休業)
<http://www.t-bunka.jp/>

●ピティナ
<http://www.piano.or.jp/concert/support/>



デビュー30周年に寄せて

ウィーンのベーゼンドルファーザールで初めてのリサイタルを開催してから、30年が過ぎました。この30年を振り返ると、ロンドン留学、帰国後の演奏活動、北海道教育大学で教鞭をとることになるなど、ウィーン、ロンドン、東京、釧路、札幌と住まいも変わり、目まぐるしい月日を過ごしてきたことが想いおこされます。今でも、ヨーロッパには演奏会や学会などで毎年訪れていますが、伝統を重んじるウィーンも近代化が進み、30年前の古き良き時代とは様子が変わっています。デビューしたウィーンのホールは、今もありません。私自身はあっという間の30年だったと感ずますが、いろいろな移り変わりがあります。

しかし、何も変わらないのは、音楽がいつも私のそばにあったことです。それは、いつも暖かく熱心に私の演奏をお聴き下さった聴衆の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。とりわけ、両親は、うれしい時も苦しい時もいつもそばで見守ってくれました。この場を借りて、「ありがとう」と言わせていただきたいと思います。

これからも皆様に音楽で元気と勇気をお届けできるよう、さらに研鑽を積んでいきます。どうか、これからも末永く音楽とともにおつきあいいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィール Profile

深井 尚子 Shoko Fukai

ウィーン市立音楽院終了。ウィーンにてヨーゼフ・ディヒラー、ハンス・グラーフ各氏に、シュトゥットガルトで、ユルゲン・ウーデ氏に師事。1985年ウィーンベーゼンドルファーザールにてデビューリサイタル開催後、帰国。1988年～1990年、再び、ロンドンに留学し、アンジェイ・エスターハージ氏に師事。8年に渡るヨーロッパ留学ののち、東京を活動拠点に、活発な演奏活動を開始する。2015年は、ウィーンデビューから30周年となる。

今までに、東京では東京文化会館、カザルスホール、王子ホール、オペラシティリサイタルホールなどにおいて、また、全国各地でソロリサイタル活動を続けている。ドイツではミュンヘン、ヴェルツブルク、トリアーなど各地、ウィーンにおいても演奏を継続しており、ドイツ各地の地方新聞評では、ベートーヴェンの正統的な解釈と表現を絶賛された。特にヴェルツブルクのシーボルト記念館にはほぼ毎年招待され、8回にわたる演奏会を行っている。

独奏のみではなく、室内楽の活動も多く、今までに、チェコフィルハーモニー管弦楽団、ポーランド国立交響楽団の各トップメンバー、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団のトップメンバー“アンサンブル・ウィーン”、東京ベートーヴェンカルテットなどと共演し好評を得た。2012年には、メビウストリオ東京を結成し、2016年には、第3回目の演奏会を開催予定で、室内楽の分野でも本格的に活動を開始した。

2002年より北海道教育大学で教鞭をとっており、大学主催の公開講座、地域貢献講座、へき地における音楽鑑賞会など多数行っており、今までに延べ1000名を超える観客を得ている。また、学術論文の執筆、雑誌の連載も数多く、2015年は、月刊ショパン、プレス空知にコラムを連載した。ほかにもコミュニティFMにおいて、10年間にわたりパーソナリティを務めた。

ベートーヴェン演奏家、研究者として研究を続けており、2014年には、ドイツ音楽学会の正会員となり、学会発表などで毎年、渡欧している。今までに、ベートーヴェンのピアノソナタ集のCDを2枚リリースし、月刊ショパンのCD評において推薦版となる。また、ヤマハミュージックメディアから、ハイドンとベートーヴェンの校訂楽譜を出版している。

現在、北海道教育大学准教授。



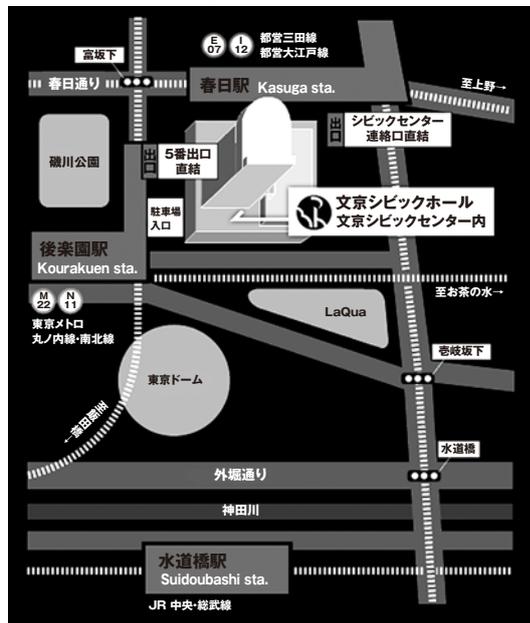
小原 圭 Kei Obara (violloncello)

北海道 札幌市生。10歳よりチェロを上原与四郎氏、E. ニッフェンエッガー女史、堀了介氏に師事。東京音楽大学付属高校 特待生入学、同校卒業後、デュブロンコースに進学、2年間在籍。新星日本交響楽団入団。朝日新聞主催アルゼンチン大統領来日記念コンサート、河口湖クリスマスリサイタル等、'91年までに毎年30以上のソロ・室内楽、依頼公演に精力的に出演。弦楽四重奏を結成、FM東京新人演奏会、都市センターホールオーディションによる演奏会などに出演後、西武セゾン美術館主催、チルリリョニス弦楽四重奏曲全曲連続公演（日本初演）にて好評を博す。

楽団退団後、関東各地の室内合奏団の客演首席奏者などを務める。渡独、デトモルトにてM. カルネイロ氏に師事。フランクフルト市郊外、クロンベルク市チェロフェスティバルに参加。ベルリン国立音楽大学に入学。チェロをM.ザンダーリング氏、室内楽をJ.シュワプ氏に師事。シュレスヴィヒ=ホルスタイン州国際音楽祭に参加。学内演奏会、オーケストラ特別演奏会に年数回出演。その後、パリ在住中エクサン=プロバンス州立第三大学フランス近代史夏期講座に通うなど、フランス音楽のみならず フランス文化の研究にも努める。

帰国後、新日本フィルハーモニー、読売日本交響楽団、大阪センチュリー、札幌交響楽団等、日本各地の主要オーケストラの客演奏者などとして活躍するほか、バルトークの弦楽四重奏曲全曲公演など、ソロや室内楽にも意欲的に取り組んでいる。

■会場案内図 文京シビックホール



■楽譜出版(校訂、運指) ハイドン いろいろどりの曲集 やさしい小品集 (ヤマハ・ミュージックメディア)
 ベートーヴェン いろいろどりの曲集 やさしい小品集 (ヤマハ・ミュージックメディア)

深井尚子が奏でる珠玉のベートーヴェン ベートーヴェン ピアノ ソナタ Beethoven Piano Sonatas



■収録曲目
 悲愴・月光・熱情 作品10-2
 ■録音場所
 ポーランド カトヴィツェ
 フィルハーモニーホール
 ■使用楽器
 スタインウェイD型
 ユニバーサル POCE 1502
 1999年11月発売
 (税込)2,500円

ベートーヴェンピアニスト 深井尚子 待望の2枚目のCD ベートーヴェン ピアノ ソナタ 第2集 Beethoven Sonate für Klavier



■収録曲目
 オールベートーヴェンプログラム
 ～テンペスト、ワルトシュタイン、作品111～
 ■録音場所
 ウィーンベーゼンドルファーザール
 ■使用楽器
 ベーゼンドルファー・インペリアル
 アートユニオン ART-3110
 2007年5月23日発売
 (税込)2,800円